

海部医療圏地域医療連携検討ワーキンググループ開催状況

目的

- ・ 地域における医療機関相互の連携、機能分担について検討する。
- ・ 地域医療再生計画で位置づけられた医療連携について、その進捗状況を把握し必要な検討を行う。

構成

- ・ 津島市及び海部医師会長、津島市及び海部歯科医師会長、津島海部薬剤師会長
- ・ 医療機関の長（名古屋第一赤十字病院長、津島市民病院長、あま市民病院長、厚生連海南病院長）
- ・ 地域の産科医及び小児科医の代表（大橋産婦人科クリニック院長、すずきこどもクリニック院長）
- ・ 消防本部長（管内5消防本部） ・ 海部地区急病診療所事務局長
- ・ 津島保健所長

地域医療連携検討ワーキンググループ開催状況

・ 第1回会議

日時：平成23年8月29日（月）

内容：救急医療及び周産期医療に係る実態調査結果報告、ポスト急性期患者受入可能病院調査結果報告、病院間連携状況確認、地域医療再生計画について

・ 救急医療作業部会

日時：平成23年11月29日（火）

内容：救急医療体制の実態調査報告、30分未満救急搬送件数について

・ 第2回会議

日時：平成24年1月16日（月）

内容：作業部会の開催状況報告、圏域の課題整理、病院間連携状況等について
地域医療再生計画について

地域医療連携検討ワーキング 圏域の課題整理表（事務局案）

海部医療圏

【現時点での課題】

	圏域の課題			改善方法		
	現状の問題点	その原因	関連データ等	現在	今後	
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> 救急患者の搬送受入を断る事例が多く発生 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 救急搬送受入照会（重症者・4回以上）（H20→H22） 2.1% (17/807) →2.1% (19/924)（愛知県） 0.5% →0.6% </div>	<ul style="list-style-type: none"> 重症者の救急搬送において満床を理由に受入を断らざるを待たない事例が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 重症者搬送 受入不可理由（ベッド満床）（H22） 海部圏域 80件/ 204件 (39.2%) 愛知県 429件/1,869件 (23.0%) 	<ul style="list-style-type: none"> 海南病院：機能の高度化、専門化を含めた建て替え整備中 津島市民病院：救急受入体制の強化を図っている 	<ul style="list-style-type: none"> 救急受入体制の充実 	
		<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送のうち軽症者割合（H22） 海部圏域5,694件/9,337件 (61.0%) 愛知県 143,547件/259,858件 (55.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送のうち軽症者割合（H22） 海部圏域5,694件/9,337件 (61.0%) 愛知県 143,547件/259,858件 (55.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> 急性期治療後患者の受入可能医療機関リストの作成・情報共有 圏域内3病院と津島市が主催で、住民とともに地域医療を守るための協議会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 急性期治療後患者の転院・転送に係る当該病院間における提携・協定締結等、具体的な連携の促進 住民から自主的に公立病院を守る動きがでるよう、講演会等を活用し普及啓発を進める 	
周産期	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送に要する時間が延びている（搬送時間30分以上の割合増加） 	<ul style="list-style-type: none"> あま市民病院の機能低下により救急対応に支障 	<ul style="list-style-type: none"> あま市民病院医師数&救急受入数（H18→H20→H22） 医師数 22人→12人→11人 (11人↓) 受入数 1,890件→648件→635件 (1,255件↓) 	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋第一赤十字病院との連携推進（医師応援等） あま市民病院の建て替え計画 	<ul style="list-style-type: none"> 病院間連携の更なる推進 	
	<ul style="list-style-type: none"> 周産期死亡率が増加傾向 			<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送30分未満搬送件数（H18→H20→H22） 60.4%→49.8%→42.2% (18.2%↓) (愛知県)63.8%→60.4%→52.9% (10.9%↓) 	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部ごとに搬送先医療機関について年次比較を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部から傷病程度、症例ごとの収容時間など詳細なデータの提供を受け、さらに検討を進める

【今までの取組で成果がみられたもの】

取組の状況	取組内容	
	課題及び取組	関連データ等
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> 軽症者が病院の時間外外来を受診し、病院勤務医の疲弊を招いている（⇒外来救急医療の定点化の推進） 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外患者数（H20→H22） 休日診療所10,593人→14,048人 (33%↑) 救急病院 34,961人→31,061人 (11%↓)